

2019年度 事業報告書

自 2019年 4月 1日
至 2020年 3月 31日

公益社団法人ビタミン・バイオフィクター協会

2019 年度事業報告

公益目的事業 1. ビタミン・バイオフィクター及びこれらに関連する研究を行っている機関や 〔助成事業〕 学会に対して研究費等の助成を行う事業

- ・ 2019 年度の研究助成先並びに助成金額は、審査委員会の書類選考によって選出、理事会に於いて承認されたのち、助成機関先に交付された。
- ・ 2020 (令和 2) 年度の募集要項は、2019 年 12 月、ホームページを通じて公開した。

応募期間 : 2020 年 1 月 10 日 ~ 2 月 10 日

書類選考 : 審査委員会にて行った

選考結果 : 理事会にて決定、応募者に通知する予定

研究助成金の交付機関の活動報告

(1) ビタミン B 研究委員会

研究協議会開催 4 回・シンポジウム

第 456 回 2019 年 6 月 6 日・鳥取、第 457 回 2019 年 8 月 30 日~31 日・京都

第 458 回 2019 年 11 月 16 日・東京、第 459 回 2020 年 3 月 7 日・兵庫〔延期〕*

シンポジウム 2020 年 3 月 6 日・兵庫〔中止〕*

(2) ビタミン C 研究委員会

研究委員会開催 2 回・シンポジウム

第 159 回 2019 年 7 月 27 日・東京、第 160 回 2020 年 3 月〔中止〕*

シンポジウム 2019 年 8 月 29 日・東京

(3) 脂溶性ビタミン総合研究委員会

研究委員会開催 4 回

第 362 回 2019 年 6 月 6 日・鳥取、第 363 回 (70 周年記念講演会) 2019 年 9 月 13 日・東京

第 364 回 2019 年 12 月 13 日~14 日・富山、第 365 回 2020 年 3 月・東京〔中止〕*

(4) 日本ビタミン学会

○ 学会誌「ビタミン」年 11 回刊行等

○ 日本ビタミン学会第 71 回大会開催

会 場 : とりぎん文化会館 (鳥取県立県民文化会館)

開 催 日 : 2019 年 6 月 7 日 (金) ~ 8 日 (土)

大会委員長 : 渡邊 文雄 (鳥取大学農学部 教授)

テ ー マ : 「ビタミン学再考」

参加者数 : 約 320 名

2019 年度事業報告

第 1 日目 (6 月 7 日)

文化講演

『風が支配する大地「鳥取砂丘は生きている」』

林田 房雄 (山陰海岸国立公園鳥取砂丘ビジターセンター)

第 2 日目 (6 月 8 日)

シンポジウム I

「バイオフィクターについて考える～生合成・代謝と機能性発現機構を
再考する～」

(敬称略)

- 還元型コエンザイム Q₁₀ による臨床効果 藤井 健志
- 食事によるコリン化合物摂取とその機能性 大久保 剛
- エイコサノイドの生合成系とその役割 山本登志子
- ファイトケミカルの生体利用性と機能性発現調節

室田佳恵子

シンポジウム II

「わが国におけるビタミン摂取の現状と課題」

(敬称略)

- ビタミン D・K 摂取の現状と課題 津川 尚子
- 骨粗鬆症治療におけるビタミン D の製剤 萩野 浩
- 抗酸化ビタミン (C・E) と認知症・アルツハイマー病
篠原もえ子
山田 正仁
- 水溶性ビタミン摂取の現状と課題ービタミン B₁₂・B₁ を中心にー
田中 清
- 葉酸代謝関連遺伝子多型と片頭痛 古和 久典

第 1 日目 (6 月 7 日) ・ 第 2 日目 (6 月 8 日)

一般演題 100 題

(5) 島根大学学術研究院農生命科学系

研究 テーマ：食用及び薬用資源に由来する脂溶性機能性因子と抗酸化物質の
分析と健康機能の解析

代表者：島根大学学術研究院農生命科学系

生物資源科学部・学部長 井藤 和人

公益目的事業 2. ビタミン及びバイオフィクター等に関する知識を普及する事業
〔 広報・活動事業 〕

(1) ビタミン・バイオフィクター関係新情報の提供

当協会の広告を日本ビタミン学会発行の「ビタミン」誌に掲載した。

また日本ビタミン学会の年次大会号(プログラム・講演要旨掲載)を購入し、企業会員並びに希望者に配布した。

当協会やビタミン・バイオフィクター関連団体の市民公開講演会、諸講座、シンポジウム等の開催日程や内容などに関する新情報をホームページに掲載した。これらにより広くビタミン・バイオフィクターに関する情報の提供、知識の普及を図った。ただし、新型コロナウイルス感染症拡大防止に伴い3月開催予定のシンポジウム及び委員会等は、中止又は延期となった。

(2) 一般市民を対象にした公開講演事業

ア. 市民公開講演会開催

2019 年度 ビタミン・バイオフィクター協会 市民公開講演会 開催 (主催)

開催日 : 2019 年 11 月 30 日(土)

会場 : キャンパスイノベーションセンター東京

世話人 : 寺本 祐之 (株)ファンケル 総合研究所 機能性食品研究所所長
当協会参与

柴田 克己 甲南女子大学医療栄養学部 教授

一瀬 宏 東京工業大学生命理工学院 教授

テーマ : ビタミンは足りていますか?

ービタミン不足が確認できる最新技術ー

参加者数 : 約 70 名

「-ビタミンはどのように見つかりどのように命名されたか-」

鏡山 博行 (本協会会長・大阪医科大学名誉教授)

「ビタミンは壊れやすい

ー尿中へのビタミン排泄量からビタミン栄養状態を知るー」

柴田 克己 (甲南女子大学 教授)

「ビタミン D と健康ービタミン D 栄養状態を高めるには?ー」

森原 晶子 (大阪府立大学 准教授)

「栄養状態に対応したパーソナルサプリメントの開発について」

雄長 誠 (株式会社ファンケル 総合研究所

ヘルスサイエンス研究センター)

2019年度事業報告

イ. 市民公開講座開催

2019年度 日本ビタミン学会 市民公開講座 開催（共催）

開催日：2019年11月9日（土）

会場：仙台市中小企業活性化センター・多目的ホール

実行委員長：駒井 三千夫（東北大学大学院農学研究科 教授）

テーマ：ビタミンの力でスマートエイジング

参加者数：約200名

「ビオチンによる糖尿病・肥満症・高血圧症の予防」

曾根 英行（新潟県立大学人間生活学部 教授）

「ビタミンKによる健康寿命の延伸」

白川 仁（東北大学大学院農学研究科 教授）

「日本人の遺伝子多型に基づく健康寿命」

香川 靖雄（女子栄養大学 副学長・医化学 教授）

(3) 事業委託

研究者間の交流及び最新の研究内容などの公開を図るため、ビタミンB研究委員会に

下記のような研究協議会とシンポジウムの開催を委託した。

また、その内容に関してホームページなどを通じて一般に周知した。

ア. 研究協議会

第456回 2019年6月6日 鳥取・ホテルモナーク鳥取

世話人：渡邊 文雄（鳥取大学教授）〔演題発表数：11題〕

第457回 2019年8月30・31日 京都・ザ・パレスサイドホテル

世話人：栗原 達夫（京都大学教授）〔演題発表数：13題〕

第458回 2019年11月16日 東京・東京大学 中島董一郎ホール

世話人：西山 真（東京大学教授）〔演題発表数：7題〕

第459回[※] 2020年3月7日 兵庫・武庫川女子大学〔延期〕

世話人：野坂 和人（武庫川女子大学教授）

イ. シンポジウム〔中止〕[※]

開催日：2020（令和2）年3月6日（金）

会場：東り いたみホール（伊丹市立文化会館）

企画・運営：野坂 和人（武庫川女子大学薬学部 教授）

テーマ：腸内細菌叢とビタミン・バイオフィクター

2019 年度事業報告

「日本人の腸内細菌叢解析から見えてきた健康長寿の秘密」

内藤 裕二（京都府立医科大学大学院医学研究科准教授）

「腸内細菌から見直す食事と健康」

福尾 恵介（武庫川女子大学栄養科学研究所所長）

「食と腸内細菌が作り出すビタミン環境と健康」

國澤 純（国立研究開発法人医薬基盤・健康・栄養
研究所・ワクチン・アジュバント研究センター長）

「腸内細菌代謝産物と肥満」

木村 郁夫（東京農工大学大学院農学研究院教授）

「肥満誘導性腸内細菌のメタボライトによる肝がん促進機構」

大谷 直子（大阪市立大学大学院医学研究科教授）

(4) 情報広報

マスコミからのビタミン・バイオフィクターに関する企画、問い合わせなどに正確に対応した。また、一般からのビタミン、バイオフィクター、サプリメントなどに関する質問に対しても迅速に回答した。

回答数 1件

※ 下線部 新型コロナウイルス感染症拡大防止に伴い中止又は延期

2020（令和2）年3月31日
公益社団法人ビタミン・バイオフィクター協会

2019年度 事業報告 附属明細書

2019年度 事業報告には、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」
第34条第3項に規定する附属明細書「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在
しないので作成しない。